

# 編集後記

僕は、自分の地域のことを調べました。西山形には、富神山周辺で起こった関ヶ原合戦の出羽合戦や大ノ越古墳のような昔にできた建造物などがたくさんありました。だから、西山形地区の歴史的な建造物を沢山の人たちに知ってもらいたいと考えました。そして、僕のパンフレットを見てこの西山形地区の建造物を見に来てみてください。

# 西山形の歴史



この上の像が  
最上義光像です。

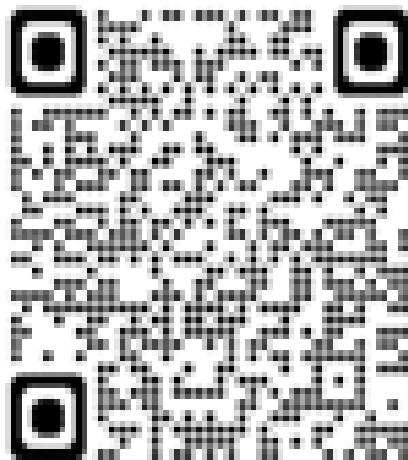
R8年度6年生

山形市立西山形小学校

# (目次)

- ・ 関ヶ原の出羽合戦 1
- ・ 柏倉八幡神社 2
- ・ 大ノ越古墳 3
- ・ お明神様 4
- (おみんつあま)
- ・ 富神山の由来 5
- ・ 編集後記 6

この隣にある  
西山形小学校  
のQRコードを  
読み込んで見  
てね。



と か み や ま

## 富神山の由来

関ヶ原の戦いのころ、石田三成方・直江兼統（上杉軍）が徳川家康方・最上義光（最上軍）の拠点である山形城をせめるために、城を見ようとした。ですが、霞がかかっており、全く見ることはできませんでした。

その後、十日間雲は晴れず、上杉軍は撤退していきました。そのことから、「十日見山」といわれるようになりました。そして今は富神山

（とかみやま）と言われています。他にも山の会という方たちがいて、毎月10日に登っています。そして、登山道も整備してくれます。



# お明神様

(おみんつあま)

富神山の神を奉っているのですが、由緒は何一つわからないそうです。ただ、圃場整備の時偶然縄文時代の遺跡が見つかりました。調査の結果、ストーンサークル、直径40メートルの大きさでおん明神様を囲んでいるのがわかりました。だから、ここは、縄文時代から山の神を祭る場所だったのかも。



## ・関ヶ原の出羽合戦

富神山周辺で、繰り広げられた出羽合戦は、東北で起こったもう一つの関ヶ原合戦でした。慶長5年の9月から10月、富神山周辺は戦場になりました。攻めてきたのが石田三成についた上杉勢の直江兼続。迎え撃ったのは徳川家康側の最上義光。長谷堂攻略中の兼続軍でしたが、関ヶ原合戦での石田三成敗北を知って退却を始めました。退却する兼続軍を追った最上軍との間に富神山山麓で戦いが繰り広げられました。そして、両軍ともたくさんの兵が亡くなったそうです。

かしわぐらはちまんじんじゃ

# 柏倉八幡神社

旧石器時代（約1万2千年前）の石斧が出土しました。山形市最古の住民遺跡だそうです。

由緒に、康平6年（1063）源義家の創建とあり、慶長の戦火にあい最上義光が再建し社領360石を献じたという。そして、県内有数の古社であることを示していた。



だいのこしこふん

# 大ノ越古墳

五世紀末に築造された豪族の古墳です。そして、大ノ越古墳から44点の武器などが出土しました。

その例として、単鳳文環頭大刀（たんほうもんかんとうたち）・刀剣類・鉄片・工具類・土器・馬具類などがあげられます。

